



沢地小だより

第7号 令和5年10月31日



～沢地小学校開校50周年を祝う会～

10月18日、沢地小では、児童会役員の手で「沢地小開校50周年を祝う会」が開催されました。昭和49年度、初代校長杉本武先生により、開校1年目の沢地小学校についてまとめた本「この1年（開校年度教育実践記録抄）」が、本校には大切に保存されています。その記録によると、開校1年目の6月、児童会主催の「開校を祝う会」が行われています。そこで、今年度開校50周年の会も、学校の主役である子供たちによる会にしたいと、準備を進めてきました。当日は、子供たちを中心としながら、この50年沢地小を築き、支えてくださった皆様と共に祝いをしていただきました。当日に向けて、体育館内の飾り付けは交流委員会が「沢地小50周年祝いデコレーション」を計画しました。体育館の北側には、ペア活動で作成した「将来の夢」が掲示されました。当日は、児童会役員が「沢地小50年の歩み」をクイズ形式で行い、楽しみながら50年の沢地小を振り返ることができました。そして校長からは、「われら沢地小」に誇りを持つと共に、地域の皆様への「感謝・ありがとう」の気持ちを大切にほしいという願いを子供たちに語りました。開校の記念にあたり、沢地小だより第5号に引き続き、「この1年」の記録から、沢地小開校当時の様子についてお伝えします。



沢地小学校 開校50周年「われら沢地小」part 2

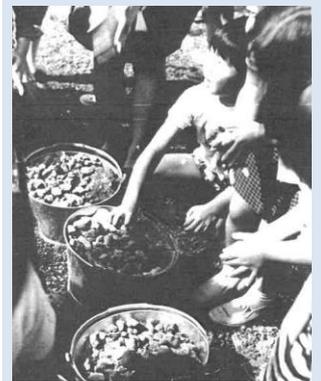
初代校長杉本武先生作成冊子「この1年」より

〔6年生の作文〕

「運動場はどろどろでデコボコしていました。みんなで石を毎日拾って、きれいな運動場に創り上げていきました。これからもっともっと楽しい良い学校にしていくには、一人一人が助け合って、三島一そして日本一の学校にしていきたいです。」

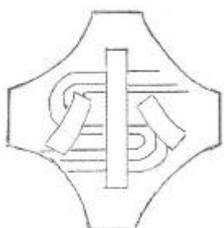
〔6年担任が6年生に向けたメッセージ〕

「この4月、君たちは沢地小の新しい6年生として、このできたばかりの学校にやってきました。君たちも私もすべてわからないことだらけでした。まず君たちと始めたことは、教室づくりでした。掃除、ワックスを塗り、やっと1つの教室を創り上げました。汗をかきました。指や手が痛くなったことでしょう。でも一つ一つ君たちは、沢地小の石垣の第1段目を築き上げました。土台になる一番大事な基礎の石です。50年たっても100年たっても、土台はしっかりしていることでしょう。」



この作文とメッセージから、当時の沢地小の子供たち、先生方が沢地小を宝物のように大切に思い、深い心で学校生活を過ごしていたことがわかります。50年前の沢地小の石垣1段目を築いた開校1年目の子供たち、50周年を迎えた今、沢地小の石垣50段目を築き上げていることとなります。

校章



中央のSの字3本は、新設校、沢地
川分校の頭文字のSを沢地川の清流に
なぞらえたものです。

外側は、沢地、千枚原、富士ビレッジ
光ヶ丘の四つの地区を型どったもので、
子供たちの幸のために互いに結び合
い、協力し、たくましく発展してい
たいと願ってまとめられました。

昭和50年10月5日制定

当時の記録によると、この校章には、次のような願いが込められています。

「中央のSの字3本は、沢地小学校の頭文字のSを沢地川の清流になぞらえたものです。外側は、沢地、千枚原、富士ビレッジ、光ヶ丘の4つの地区をかたどったものです。子供たちの幸せのために互いに結び合い、協力し、たくましく発展してほしいとの強い願いが込められています。」今では富士見台地区も加わり、5つの地域の皆様が、沢地小の子供たちをあたたく支えてくださっています。感謝の気持ちでいっぱいです。